

- (1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

志望校の選択で悩んでいる時に担任の先生よりこの学校を薦めていただきました。

パンフレットを取り寄せ調べてみたところ、私の学びたいことそのものだったの2、

是非この学校へ入学したいと思うようになりました。

- (2) 推薦入試対策としての受験勉強の進め方について。

## 〔1学期〕

部活動の後学校に残り、基礎を重点的に学習していました。

授業の内容は授業の中で理解できるように、しっかり集中して取り組みました。

英語は、早めに学習を始めることが大切だと思ふの2、まず基礎となる英単語から

積み重ね、覚えるようにしておくとよいと思います。

## 〔夏休み〕

私は家庭での学習があまり得意ではなかったの2、学校や図書館を利用していました。

自分の苦手科目を中心に勉強するようにして、1日平均7~8時間勉強しました。

この頃はセンター試験対策を中心にやっていたため、理系科目の勉強の合間に文系科目の勉強をしました。

推薦入学試験での化学はセンター試験に似た問題が多く、どちらかの対策をやること2

どちらの対策にもなったと思います。

## 〔2学期～入試直前〕

推薦入学試験の英語は、特殊な形式なの2過去問を何度も解き、演習を重ね、

問題の形に慣れることが大切だと思ふ。

化学は西点も大きいのが、その分基礎中心に勉強しやうと思ふ。参考書2化学基礎の

初歩的な所から完璧に暗記し、計算問題を含め参考書2問題演習を繰り返しました。

過去問は直前に確認して解き、間違えた所は分かるまで、確実にできるようにするまで復習しました。

1か月くらい前から2教科科目とも過去問中心の学習にしました。私は午前と午後の8年分を角解き、

完璧に復習していたの2入試のときはおろろろ取り戻すことができました。

- (3) この一年間の受験生活において、受験勉強と高校の行事やクラブ活動の両立、健康面での注意、テレビやスマートフォン等との付き合い方、スランプとその対処法について。

私は3年生の1学期まで部活動に必死でした。そんな中で勉強するのは少し大変なときも

あったけれど、授業を大切に、基礎中心に勉強を習慣化できるように努力しました。

まわりと比べるとはやく、自分の決めた1日の目標を達成できるように心がけていました。

引退してから本格的に受験勉強を始め、目標の点数を思い浮かべながら毎日頑張りました。

頑張り過ぎると身体をこわしてしまつてはいけないと思ふ、目垂眼はしっかりしていました。

また、集中力がきたときや成績が思うように伸びず辛い日には、絶対合格する、という強い気持ちを持ち、

くいつく頑張りました。

- (4) 受験を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

私は過去問を解いてみても直前まで、思うように点がとれず、とて辛かったの2

しかし、本番前になると、この問題をちゃんと解くことができるの2過去問を何度も復習していたから2

本番はおろろろ解けず、頑張った成果は必ず出せると思ふ。

自分を信じて最後まで頑張りつてくれた2